



ミシマ社  
MISHIMASHA

ノンフィクション・紀行文 ご担当者さま



# 中国でお尻を手術。

——遊牧夫婦、アジアに行く

ISBN978-4-903908-30-4 C0095 判型:46判並製  
306頁 価格1,600円(+税)

著者:近藤雄生

「ぼくはライターとしての仕事の経験はほぼゼロに等しく、本当にそれでやっていけるのかどうか、まったく持って未知だった」(本文より)

そんな不安を抱えつつ抱腹絶倒の中国ライフを綴った痛快ノンフィクション!

## 内容

結婚時、無職。一度も日本で新婚生活を 経験することなく、2003～2008年の5年間旅に出た「遊牧夫婦」。本書は、旅の2年目中国に滞在した1年半の「暮らし」をお届け。昆明では、コンプレックスだった吃音を克服。人生初の手術まで！上海では、妻が働き、そして著者は……？

## 近藤雄生 (こんどう・ゆうき)

1976年東京生まれ。東京大学工学部卒業、同大学院修了後、旅をしながら文章を書いていこうと決意し、2003年に妻とともに日本をたつ。オーストラリアでのイルカ・ボランティアに始まり、東南アジア縦断(2004)、中国雲南省で中国語の勉強(2005)、上海で腰をすえたライター活動(2006-2007)、その後ユーラシア大陸を横断して、ヨーロッパ、アフリカへ。2008年秋に帰国し、現在京都在住。著書に『旅に出よう』(岩波ジュニア新書)、『遊牧夫婦』(ミシマ社)がある。

目次 プロローグ I、中国直前(タイ・ビルマ) II、中国(昆明・チベット) III、反日の空気 IV、上海



装丁: 寄藤文平

掃除のおばちゃんが、点滴を見て「遅いわね」と言って、勝手にツマミをひねって速度を上げていった。

ベッドにかけられたシーツの上に、茶色い水下痢が大きな水溜まりを作っていた。一瞬信じられなかったが、ぼくは「寝ゲリ」をしてしまったのだ。

不動産屋の人たちは、誰もが暇そうだった。

いままさに排便中という男たちの姿が、余すところなく望めてしまった。みなタバコをふかしながら、余裕シャクシャクでかんでいた。

(すべて 本文より)

『中国でお尻を手術。遊牧夫婦、アジアに行く』	注文欄	ご注文数	冊
シリーズ第一弾 【2刷】『遊牧夫婦』(2010年7月刊)	注文欄	ご注文数	冊

### \* ミシマ社の本の仕入方法について (基本パターン) \*

- 直接取引(返品可) \*詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率 : 70%
- ②納品 : 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。
- ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。
- ④精算 : 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。  
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)  
注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。



【直取引メインです】

貴店名:

ご住所:

TEL:

FAX:

ご担当者:

様

通信欄

株式会社ミシマ社 営業チーム: 渡辺・窪田行き  
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2-6-13 TEL:03-3724-5616

FAX:03-3724-5618